

2015年10月30日
中部電力株式会社

信濃東信線 ギャロッピング対策工事について

1 工事理由

2015年3月2日、信濃東信線の停止に伴い、長野県北東中部（長野市・上田市・松本市・安曇野市など）の広範囲にわたり停電が発生し、多くのお客さまに多大なご迷惑をおかけいたしました。

当社において、停電原因を調査した結果、湿った雪が付着した電線に風が継続的に吹き付けることにより電線が上下運動するギャロッピング現象によるものと特定しました。

その後、送電設備の設置状況や気象状況の分析を行った結果、ギャロッピング対策が必要な箇所を選定し、信濃東信線においては、No2～No4 鉄塔間をはじめとした18 径間で対策工事を実施することといたしました。

2 対策工事の概要

線路名	27万5千V 信濃東信線（2回線）
対策箇所	18 径間（No2～No4 鉄塔間を含む）
工事内容	ルーズスペーサ、相間スペーサの取付

3 位置図

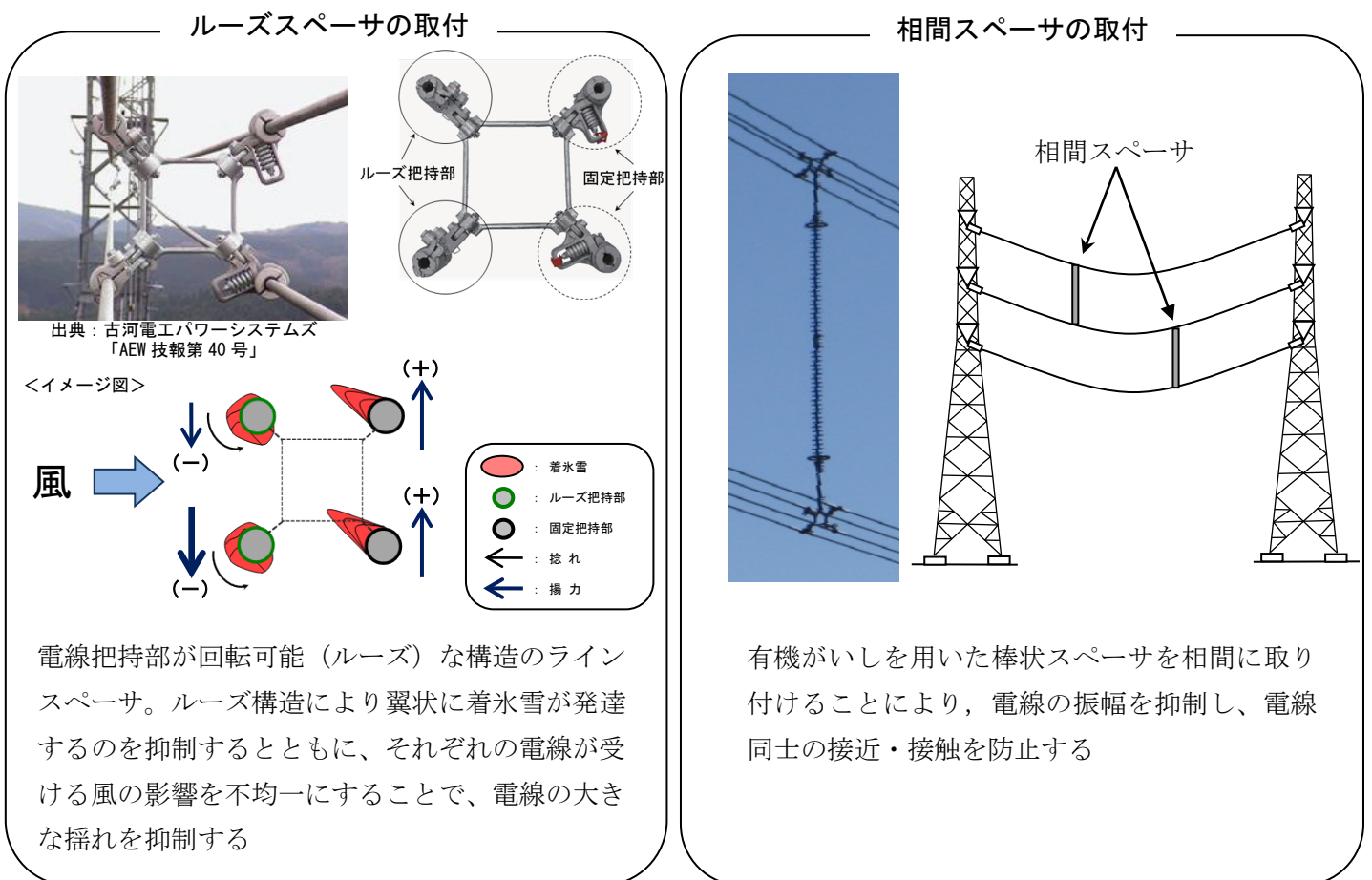


4 工事工程

	2015年									
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
調査設計		■	■	■						
仮設工事					■	■	■			
鉄塔改造工事							■	■		
ギャロッピング対策工事								■	■	
撤去工事								■	■	

5 取付ける対策品

対策品	仕様	取付個数（18 径間分）
ルーズスペーサ	重さ：約 18kg/個 大きさ：約 50cm×約 50cm	714 個
相間スペーサ	重さ：約 170～190kg/個 長さ：約 8.3m～10m	60 個



以上